

2026年の四万十川。どんな水と出逢って、どんな旅になるか。みんなで四万十の川旅を創っていきましょう！

Canoeing is life. The rest is just details.

動力の無いカヌーに乗り、最低限の道具だけを使って自分の力だけで創っていく少人数で贅沢な川旅。四万十塾のトレックは、皆さんの中に眠っている野生の力を最大限に引き出す事のできるカヌートレックです。

'26 年間スケジュール

春夏秋冬さまざまな顔を見せてくれる四万十川。川の流ればエネルギーの流れ、宇宙の流れ。その四万十川で、自分自身と向き合う瞬間を感じる旅。

四万十塾は、皆さまのおかげさまで、31周年を迎えます。

◆◆ Old Town Canoe 正規取扱 ◆◆
カヌーパーツ・グッズを取り扱っています。お早めにお問い合わせ下さいね。

◆◆ Wildness Village Paddle 正規取扱 ◆◆
『アッシュガイドパドル』&『ガイドグリップ・ビーバーテールパドル』大変お待たせしております。只今、ご予約受付中です。お早めにお問い合わせ下さいね。

◆◆ Main Slow Vacations 4泊5日 Canoe Trek ◆◆
5月2日～6日・7月29日～8月2日・8月5日～9日・8月12日～16日
8月26日～30日・9月2日～6日・9月9日～13日・9月19日～23日

◆◆ Slow Vacations 3泊4日 Canoe Trek ◆◆
7月23日～26日・7月30日～8月2日・8月27日～30日

◆◆ Short Vacations 2泊3日 Canoe Trek ◆◆
1月10日～12日・2月21日～23日・7月18日～20日（スタートツアー）

◆◆ 蜚ウオッチング&ナイトカヌー ◆◆
5月30日～31日・6月6日～7日

◆◆ 飛び豆イベントツアーキャラバン ◆◆ 詳しくはホームページをご参照ください
那珂川（栃木・茨城）・長湊（秩父）・鶴川（北海道）・犀川・万水川（信州）北山川（和歌山）・本津川（京都）・仁淀川（高知）・長良川（岐阜）etc....

◆◆ Coleman × 四万十塾 キャンプ&カヌー体験 ◆◆（他プログラム有）
四万十川（高知）・仁淀川（高知）・本津川（京都）・那珂川（栃木・茨城）番外編 有

◆◆ 31周年スペシャルコラボツアー企画 ◆◆
※各社と企画中！ 詳しくはホームページをご参照ください

◆◆ 1day or Half day コース ◆◆
1月2日の1day 初漕ぎを皮切りに随時受け付け中！お気軽にお問い合わせ下さい。

◆◆ オーダーツアー ◆◆
自分達だけのオリジナルツアーを計画しませんか？記念日、誕生日、サプライズ等日程、コース、料金などのご相談はお早めに。

●少人数制です。定員になり次第締め切らせていただきますのでお早めにお申し込みください。
●グループや会社等の研修にも是非ご利用ください。

申込先・お問い合わせ・パンフレット請求
Wilderness Village 四万十塾 〒787-1227 高知県四万十市楠 24
TEL&FAX 0880-38-2045
https://www.40010.net/ E-mail canoe@40010.net
四万十塾の収益金は、リスボンス協会を通じて四万十川を中心に自然再生環境保護に充てさせていただきます。



ガイド料金	大人1名	小人1名
4泊5日	72,000円	49,500円
3泊4日	68,000円	45,000円
2泊3日	50,000円	35,000円
1泊2日	33,000円	24,000円
1day	16,000円	12,000円

※内税表記です。※価格は予告無く変更する場合がございます。



協賛していただきました企業の皆さま本当にありがとうございました。
四万十塾は、皆さまと共にまだまだ意志を持って旅を続けていきます！！



お気に入りのアイテムを持ってフィールドに出かけよう！！

DISPORT WITH CANOE!!

この印刷物は、植物油インキを使用しております。



河原で迎えてくれる焚き火の炎

遠くに聞こえる蟬の声と

カヌーに乗った僕たちの流れ

暖かく力強い日差しが照り

水面に跳ねるパドルの飛沫と

頬を撫で吹き抜ける風

そして穏やかな時間



今年も素敵な川旅を皆様と共にできたことを、心より感謝いたします。

Wilderness Village 四万十塾 塾長 とーる スタッフ 一同



shimanto-juku

気風で真っ白の河原。吐く息も白く、火をつけようとする小枝も凍ったように冷たく感じます。ほくちから小さな種火をゆっくり育てて大きくし、焚き火になる頃には、少し空も明け、星も段々と減り、コーヒーが温まると朝が静かにやってきます。四万十塾は今年 30 周年を迎えました。

GW には四万十川で 5 泊 6 日の川旅が始まります。韓国から久しぶりの方や初めての方、以前に韓国ツアーへ参加した方も参加して旧交と新交を温めます。初めてでも久しぶりでも四万十川の雄大な自然にすぐに溶け込みます。春先の雨が無く水量は少なかったので透明度は高く、のんびりとした流れにカヌーを浮かべ、焚き火を囲みゆっくりとした時間が流れます。川の上には沢山の鯉のぼりが泳ぎ、春の風物詩が暖かい私たちに優しく吹かれます。日差しは夏のように強く照りつけ暖かい風が心地よく吹きます。今年も夏の訪れは早そうです。それでも夕暮れには涼しい風が吹き、皆んなの輪が小さく集まり、焚き火の炎が顔を照らしてくれます。体を温めてから寝袋の中でゆっくり休めます。

次の週には、『飛び豆イベントツアーキャラバン』へ。関西をのんびり流れる木津川へ。春先の暖かい風が山間を吹き抜けていきます。企業研修ツアーを行います。初めての方と経験ある先輩も、一緒に焚き火を起こし、調理をして食事をします。そしてカヌーに乗って川を下ります。仕事の話もアイデアも遊びの中では一味違う？！仲間の違った一面も知れるかもしれませんね。翌週末も木津川で KEEN とのコラボツアーを開催。関西圏の街からも近い水辺。山々は深く、毎夜鹿が鳴き響きます。のんびりとした週末を山間のキャンプ場で川の時間を過ごします。そして、北上して秩父の長瀬へ。春先の少し水量の増えた長瀬ではスブラッシュダウリバー。水しぶきを浴びながら、数々のウェブで 2 日間を楽しみました。

今年はコールマンとのコラボツアーで十和田湖にて初ツアーを催行。穏やかな湖畔のキャンプ場にてゆったり流れる時間。ウッド&キャンパスカヌーも透明度の高い湖に悠然と浮かび、雄大な風景の一部に。深い湖の蒼

は流れる川には無い雰囲気を感じますね。

津軽海峡を渡って 10 年ぶりの北海道へ。釧路川源流部で 2 泊 3 日を過ごします。穏やかに広がる屈斜路湖。汗ばむ陽気、まさかの半袖です。日陰を探してランチ、レクチャーの合間には水浴びをして体を冷やします。初泳ぎは北海道にて。湖から釧路川へ。日差しは川底の魚を明るく照らし、芽吹いた新緑に思わず見とれます。水が少なくゆっくりと流れます。焚き火を囲み、湖の上を走る夕涼みの風を心地よく受けながら今宵の晩を楽しみます。早朝、温泉卵を作り朝霧の中カヌーで半島へ。朝食を食べてランチを皆んなで仕込んだら、塘路湖へ。川幅は少しずつ広がり、景色はより雄大に。水草を食べる蝦夷鹿を横目に湿原を漕ぎます。まるでサファリパークのように水辺で間近を通り過ぎる私たちを悠然と見返します。渡らない様のタンチョウや、オジロワシも。あっという間の 2 泊 3 日。

そして、夏の四万十でスタトレツアー。空梅雨からの空夏へ。雨が降らず水量は少ないですが、流れと水の動きを感じながら、カヌーを自分の思いのままに自由自在に動かします。3 日間たっぷり水と戯れ、パドリング。そして火照った体は川に浸かってクールダウンしました。

四万十の川旅はコールマンとのコラボツアー「キャンプ&カヌー体験」3 泊 4 日から。雨で増えた川の流れに乗ってのんびりと。河原でテントを張って、流木を集めて焚き火を起こし。四万十の川旅は特別ですね。翌週は子供達だけのキッズキャンプカヌーツアー。大学生になった先輩の参加もあり。当時は思い出しますね。現役と元小学生の 3 泊 4 日の大冒険。旅は自分達で創ります。日差しは強く、浴びる水飛沫は気持ち良く、水の中へ飛び込まずにはいられませんね。自分のテントを張って寝床を作り、流木を拾い集めて火をつける。皆んなで料理して、片付けます。河原での生活も 4 日続けば日常に。共に旅をする仲間との思い出は大切です。

コールマンとのコラボツアーは様々な川で計 6 回開催。第 4 回は、夏休み最後の週末に高知県を流れる兄弟川の大河、仁淀川へ。こちら水量は少なく、日が差し込むと、特有の色鮮やかな石が目を楽しませてくれます。

四万十と同じく昨年より魚影は多く沢山泳いでいました。そして、四万十川にて Jackery とのコラボツアーを開催しました。野外での生活や防災グッズとしても活躍するモバイルバッテリー。小型化が進むポータブル電源にも毎日頃使い慣れておくのと良いですね。

晩夏の木津川にてフリースクールの子供達を水辺へエスコート。川で泳いだり、カヌーに乗ったり、いつもの仲間と思いっきり遊ぶ 1 日。少し足を伸ばして自然のフィールドへ。

四万十塾 30 周年記念イベントツアー『長瀬の日』と記念パーティを行いました。32 艇のカヌー、パーティには 50 名を超える方々にご参加いただきました。熱い夜に熱いダウリバーを楽しみました。過去最大の『カヌーの華』も。パドラー達の水上と陸上での懇親会。

那珂川で 2 週に渡り、企業研修ツアーにコラボツアー。日中は暖かいです。冷え込んだ朝に広がった朝霧で煙った川面は白く、夜は焚き火が恋しく人が集まり、皆んなの笑い声が響きます。初秋と晩夏を交互に感じる川辺で週末だけが小さな川旅でゆっくり過ごします。

そして秋めいて来た木津川へ。山の上の方が少し色づき始めた山々。か細く鳴き始めた虫の音が初秋を感じさせます。水の上から見上げる風景は普段身近に通っている道から見るとまた違って見えます。秋の夜長と焚き火を満喫しました。

陸上の移動では、四万十塾の全ての車は、廃植物油を燃料にして走っています。今年も行く先々に廃食油を回収して利用させて頂きました。大切なエネルギーを無駄にしないようにしたいですね。

2026 年とはどんな水と出逢って、どんな旅になるか。みんなで四万十の川旅を創っていきましょう！

協賛メーカーの皆さまありがとうございました。四万十塾は、意志を持ってみなさまと共にまだまだ旅を続けていきます！！

shimanto-juku

